



シングルレバー 混合栓(シャワつき)

台付タイプ

施工説明書

〔2穴・銅管タイプ〕

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工の前に…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付け後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

施工時について…

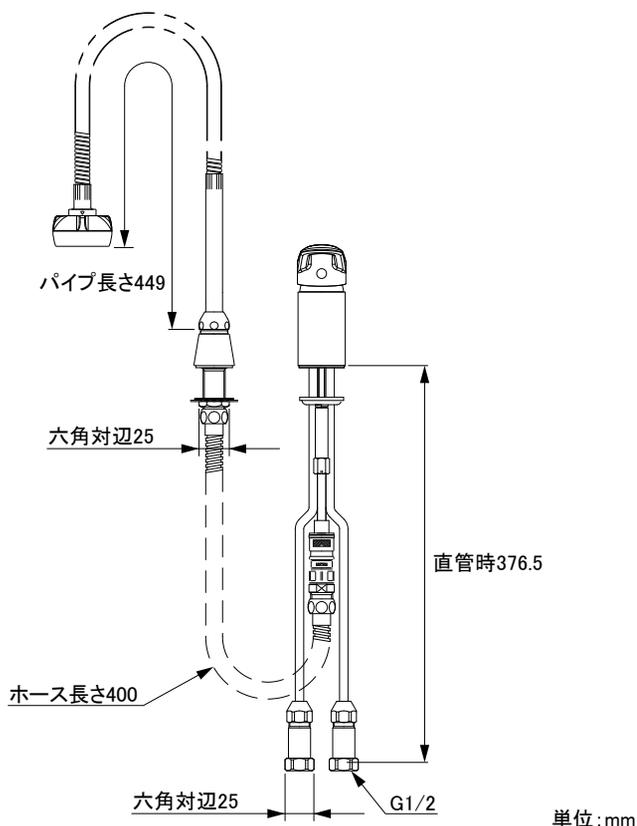
- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

製品同梱明細について…

- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

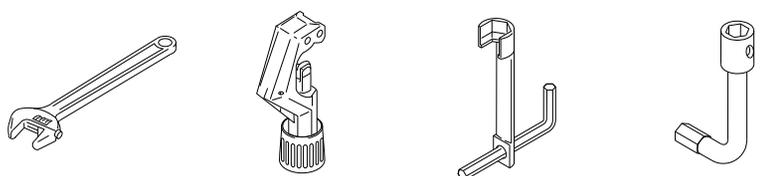
寸法図

185-510



施工に必要な工具

- モンキーレンチ
- パイプカッター
- 立ラン締め(6031)
- 立水栓取付工具



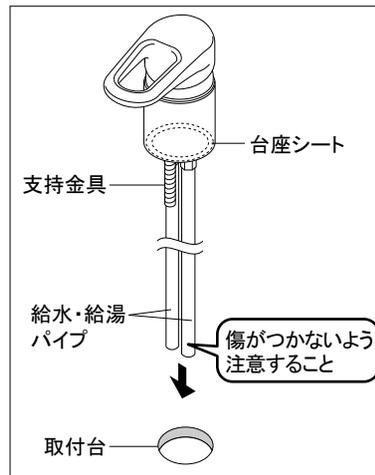
取付けの前に

*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

! ステンレスカウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板など)を取付けてください。

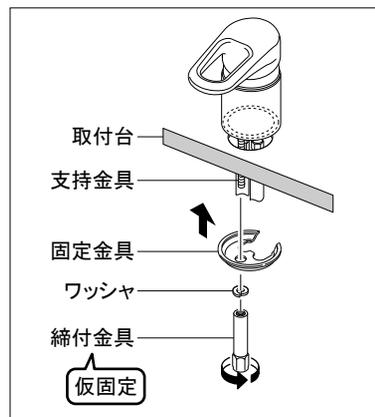
取付方法

1. 混合栓本体を取付けます。



①混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取り除きます。

②台座シートが付いた状態で、混合栓本体を取付台に差込みます。



③支持金具に締付金具パーツを左図を参考に通します。

! 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。

④締付金具を締め、取付位置を調整してから、仮固定します。

! 締付金具を締める際は、適切な工具を使用してください。締める際に、工具が給水・給湯パイプを損傷し、水もれの原因になる場合があります。

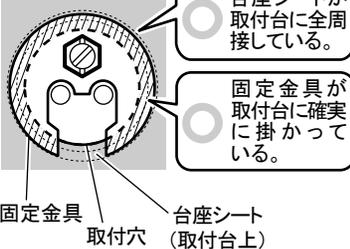
! 締付金具は、締め過ぎないでください。固定金具が変形するまで締めると固定力がなくなります。

! 混合栓本体を固定する際に、レバーハンドル部をもって、締めを行わないでください。カートリッジに無理な力がかかり破損する恐れがあります。

! 水栓本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。

正しい取付状態

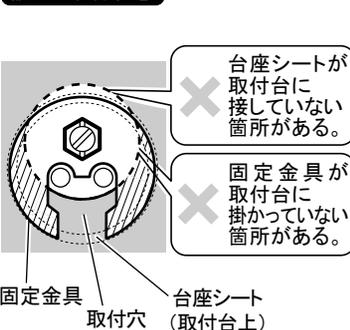
*左図を参照に、取付状態を確認します。
*台座シートが取付台に全周接しているか。
*固定金具が確実に取付台に掛かるように取付いているか。



! 混合栓本体が正しく固定されないと、グラつき、取付台下へ漏水、部品の損傷の原因になりますのでご注意ください。

! 台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますのでご注意ください。

誤った取付状態



× 台座シートが取付台に接していない箇所がある。

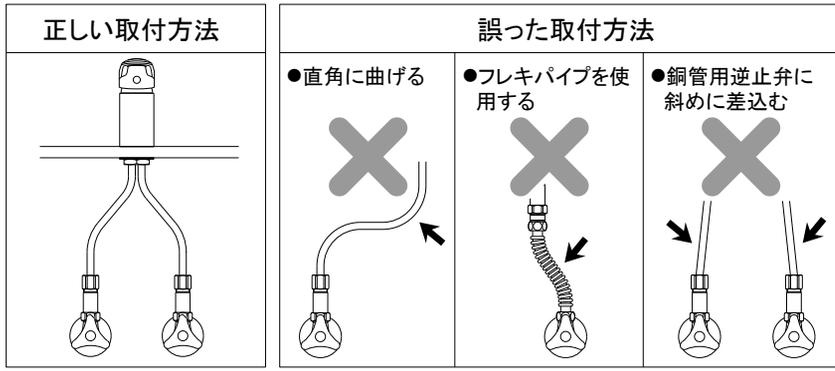
× 固定金具が取付台に掛かっていない箇所がある。

取付方法(つづき)

2. 給水・給湯パイプを取付けます。

銅管は長めに設定していますので、施工現場に合わせて切断してください。

* 銅管部はゆるやかに曲げて、銅管用逆止弁にまっすぐ差込んでください。

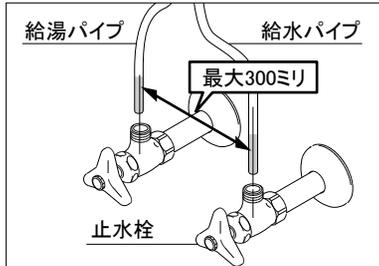


給水・給湯パイプは無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。水もれを起こし、家財などをぬらす恐れがあります。

止水栓との接続に、フレキパイプなどは絶対に使用しないでください。水もれを起こし、家財などをぬらす恐れがあります。

給水・給湯パイプは根元から急激に曲げないでください。パイプにキズが付き、強度が失われたり、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こし家財などを濡らす恐れがあります。

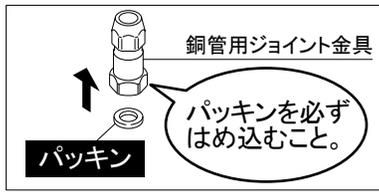
給水・給湯パイプの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。



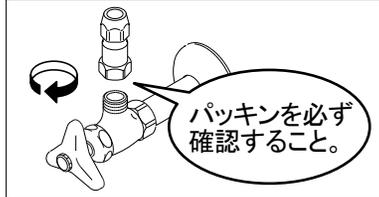
①給水・給湯パイプを、止水栓の取出し芯に合うように曲げて広げます。

給水・給湯パイプの(湯)水シールを確認して逆配管にならないように設置してください。

給水・給湯パイプはできるだけ直管部が長くなるようにしてください。

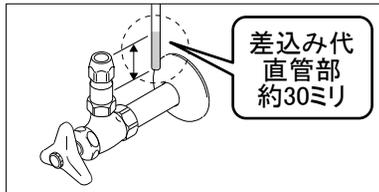


②銅管用ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。



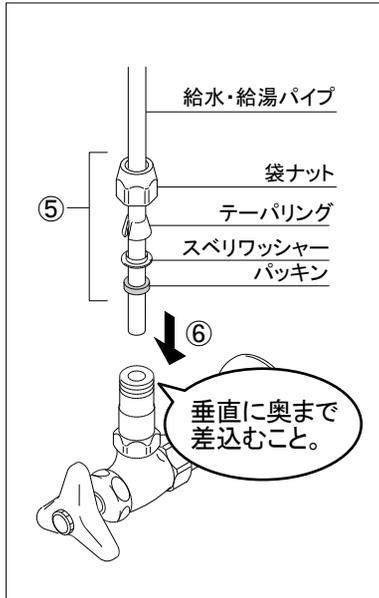
③銅管用ジョイント金具にパッキンが付いていることを確認し、銅管用逆止弁を給水・給湯側止水栓に「モンキーレンチ」などでしっかりと締付けます。

パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。



④給水・給湯パイプの必要長さを確認し、切断します。

給水・給湯パイプの差込み代として、末端から、直管部約30ミリ確保してください。切断面はきれいに仕上げてください。



⑤給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、スペリワッシャー、パッキンの順に通します。

袋ナット、テーパリング、スペリワッシャー、パッキンの順序を間違えないように接続してください。誤った順序で接続すると漏水の恐れがあります。

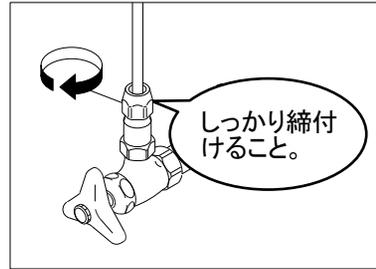
⑥「1.混合栓本体を取付けます。」で仮固定した締付ナットをゆるめ混合栓本体を持ち上げ、給水・給湯パイプを銅管用逆止弁に垂直に奥まで差込みます。

⑦混合栓本体の締付ナットを「立水栓取付工具」などでしっかりと締付け、確実に固定します。

水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。

混合栓本体が正しく固定されないと、グラツいたり、取付台下へ漏水を起こす恐れがありますのでご注意ください。

取付方法(つづき)

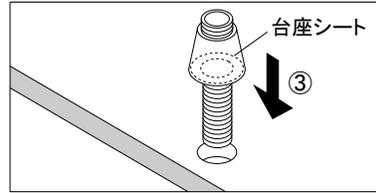


⑧銅管用逆止弁に、パッキン、スペリワッシャー、テーパリングを押し付け、袋ナットを手で締付けてから、「モンキーレンチ」などでしっかりと締付けます。

締付けが十分でないと漏水する恐れがありますのでご注意ください。

給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

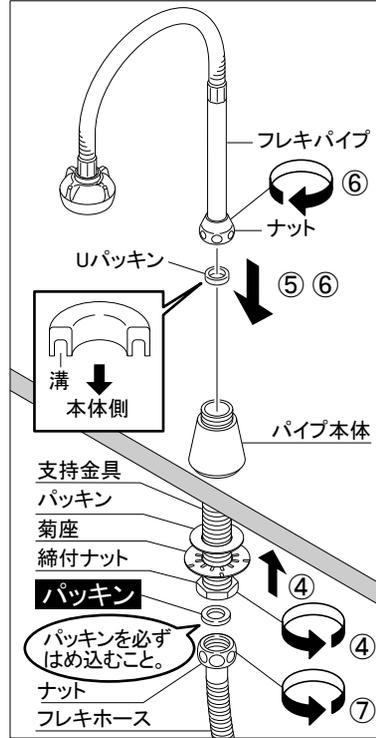
3. パイプ本体を取付けます。



①引出しシャワを設置する場所の取付穴径を確認します。

②支持金具についているパッキン・菊座・締付ナットを取外します。

③パイプ本体下部に台座シートがついているのを確認した後、パイプ本体を取付台に差込みます。



④パッキン、菊座を支持金具に差込み、締付ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付けて固定します。

⑤フレキパイプからUパッキンを外し、図を参考に溝の部分を下向きにしてパイプ本体側に挿入します。

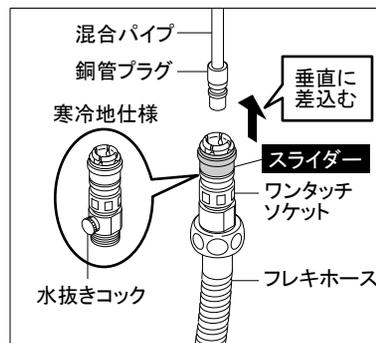
Uパッキンの挿入方向を間違えたり、傷つけたりした場合、漏水や回転不良の原因になります。ご注意ください。

⑥フレキパイプをパイプ本体に差込み、ナットを締付けます。

⑦フレキシースのナットにパッキンをはめ込んでから、「モンキーレンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。

4. シャワホースを取付けます。



①ワンタッチソケットのスライダーが下がっている状態で、銅管プラグに「カチッ」と音がする(スライダーが自動的に上がる)まで垂直に差込みます。

*ワンタッチソケットを外すときは、スライダーを下げながら下方に引っ張ってください。

②ワンタッチソケット下方に引っ張り確実に取付いているか(銅管プラグから抜けないか)確認をします。

ワンタッチソケットの接続が十分でないと漏水する恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているか確認をしてください。



取付後の点検

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。*漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
- ②ハンドルを中央位置で上げ、湯水の混合具合を確認してください。*低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。